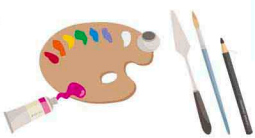




筆リレーは、
今回で終了
いたします。



坂口けい子 さん
(熊野市)
画家、
絵画教室
「Blossom」主宰



熊野古道が世界遺産に登録され
た十五年前の夏、私はこれから何が
始まるのか、ここからがスタートなん
だと、身が引き締まる想いで胸が熱
くなったのを、今でも鮮明に覚えて
います。

幼いころから私は曾祖母から熊
野地方の神話や民話を聞いて育
ち、家の目の前にある七里御浜に向
かっつて聳え立つ獅子岩周辺や、近く
の龍宮山など自然が大きな遊び場
でした。

その体験が私にとって大きな財
産となり、大学では心理学を学ぶ
傍ら、柳田国男や、昔から敬愛する
南方熊楠の民俗学の書籍を読み、
昔の人々の眼に見えないモノに対し
ての畏敬の念を感じました。

その後市外で就職後帰郷して感
じた事は、熊野は豊かな雨に恵まれ
た深い森や、海を持つパワーがなんと
も素晴らしい浄化と癒しの土地だ



熊野古道から
のがみ

熊野古道から
のがみ
54 通目

ということですが。

そんな故郷を誇りに感じ、ずつと
温めていたかっば伝説や、徐福楊枝
葉師のお柳伝説そして南方熊楠が
神社合祀令から守った引作の大楠の
話を地元の古老に聞いたり、文献を
元に紙芝居を制作して、ボランティア
グループの方々と小学校などを廻っ
て次の世代に伝えていく活動をしま
した。

そして今、画家活動の一環として熊
野の神々や自然の眼に見えない世界
観をテーマとして描いた作品を東京へ
出張しています。熊野地方には、今の
日本人が忘れかけた精神や魂、自然観
が息づいていると私は感じるので

川端守 センター長の

ザビエル城からの遠い国 日本

1506年4月7日、フランシスコ・ザビエルは、スペインのナバラ王国のザビエル城において誕生した。ナバラ王国の住人は、ほとんどがバスク人。首都パンプローナから南東約50kmの所にザビエル城はある。周辺に人家はほとんどなく、荒涼たる荒野の真中に石造りの城だけがいかめしくポツンと建っている。

彼が死んだのは1552年の12月。私たちがザビエル城を訪れたのは、それから450年を経た2002年の11月23日。スペインの田舎の寒々とした城の中の、暗いくらい部屋で育ったザビエルを思い、彼の信仰と東洋の果ての日本までの距離を思った。彼が喜望峰を回り、ゴア(インド)を経て鹿児島に上陸したのは1549年の11月。遠い遠い道のりではあったが、私たちはヨーロッパからはじめてやって来たキリスト教徒として彼らを眺めていた。

花尻薫さんと旅を共にしたのはこの時が最初で最後だった。綿密な旅行記を残している。「フランスからスペインの国境ピレネー山脈を越える巡礼は大変だという。ザビエル城見学、城そのものは19世紀の建築というが建物の様式が珍しい。見学後バスからブドウ畑が見える」と周囲の景色に新鮮な驚きをかくさない。この1月16日、87歳で亡くなられた。熊野古道センター長、語り部友の会会長等、重要な仕事をされた。何よりも熊野古道を愛し続けた一生だった。合掌。



サンティマミニエ洞窟前にて
花尻薫さん(2002年撮影)

三重県立熊野古道センターからのてがみ

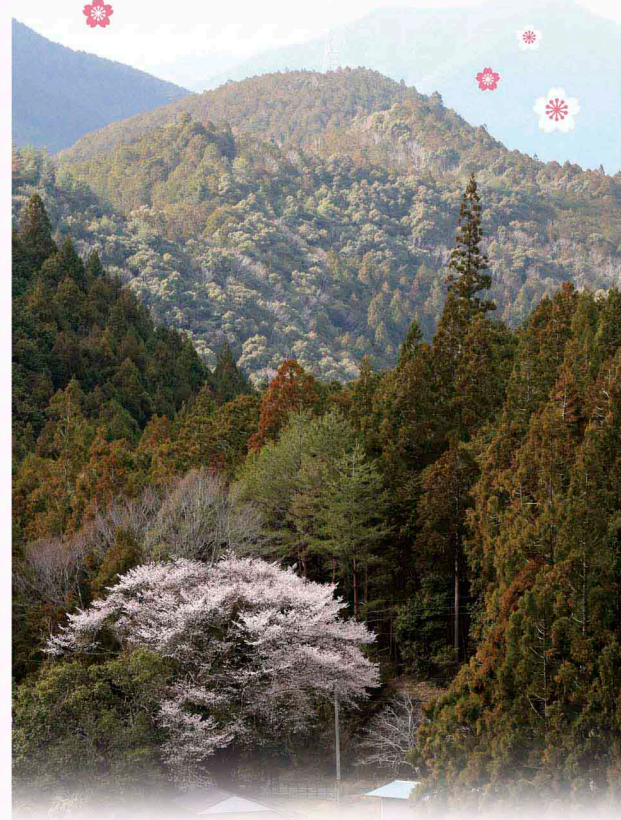
"The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center"

2020.春号

通号 No.54



クマノザクラ



春の訪れを象徴するサクラ。日本では園芸品種も含めると300種類以上も確認されていますが、その中でも一番身近にあり、親しみのあるのがソメイヨシノではないでしょうか。漢字で「染井吉野」と表記する本種は、江戸時代後期に染井村(現在の東京都豊島区)でエドヒガンとオオシマザクラを掛け合わせて誕生した種で、ここから全国に広がったことからこの和名がついたといわれています。春になるとよく耳にする「サクラ前線」「お花見」といえば、このソメイヨシノです。

さて、平成30(2018)年、紀伊半島に自生する野生のサクラが新種として登録されました。登録名が「クマノザクラ(学名 / Cerasus Kumanoensis)」です。これは、紀伊半島南部の和歌山県南部、奈良県南部、三重県南部の熊野地方で見られる種ということで名付けられました。大正4(1915)年、新種のサクラとして登録されたオオシマザクラの発見から、およそ100年ぶりの新種です。日本に自生する野生のサクラ10種類目の誕生です。

ちなみに、このクマノザクラの大きな特徴は「早咲き」ということです。地域によっては3月の下旬から開花し、中旬には見頃をむかえます。主な自生地は、人家近くの里山から人里離れた奥山にかけて、山の斜面に点々と生育しているのが特徴です。クマノザクラは当初、ヤマザクラが早く開花するものとばかりと思われていました。しかし、あらためて詳しく調べてみると、葉の大きさや花の色など、明らかに多くの点で違いが確認されたのです。

卒業式、入学式を鮮やかに演出するサクラ。涙あり、笑いあり、記憶に残る思い出のシーンに咲き誇るサクラを重ねる人は多いのではないのでしょうか。熊野各地では、クマノザクラを郷土種として認識し、公園や校庭に苗木を植える植樹活動が始まっています。いつの日か、各地から花便りが届き、子供たちの笑い声や酒酌み交わす声があちらこちらで聞こえるはずですよ。

センター敷地内『夢古道おわせ』

お母ちゃんの
ランチバイキング

営業時間 11:00~14:00
中学生以上1,400円
小学生以上700円
4歳~小学生300円
4歳未満無料
65歳以上1,200円

尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」

深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上り後もポカポカです。

開館時間 10:00~21:00
入浴料 一般600円
65歳以上500円
4歳~小学生300円
4歳未満無料

お風呂が、
カフェまでつたり

毎月26日は風呂の日
お子様は通常300円が
100円で入浴できます。

営業時間 9:00~16:30
カフェオーダー16:00



お車でお越しの方は...

尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルピオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分)※尾鷲南ICからは約8分

電車でお越しの方は...

JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車

熊野古道センターからのてがみ

● 2020年 春号 ●

- 発行日:2020年3月10日(季刊)
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当:東
- 連絡先:〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
TEL 0597-25-2666
FAX 0597-25-2667
Mail info@kumanokodocenter.com
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター
検索



ホームページ
<http://www.kumanokodocenter.com/>
60000200310MH

お知らせ 3月11日・3月12日 研究収蔵棟はメンテナンスのため休館いたします。

3月9日~4月12日 芝養生期間とさせていただきます。

4月より 三重県立熊野古道センター公式ホームページがリニューアルいたします!

その他 Guide&Tips

三重県—スペイン・バスク自治州「道の協力・連携に関する覚書」締結記念 サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路・バスクの道 写真展

三重県とスペイン・バスク自治州にて、令和元年11月7日に「世界遺産の巡礼道を活かした道の協力・連携に関する覚書」を締結しました。これを記念して、バスク自治州にある道の世界遺産「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路・バスクの道」写真展を開催します。

令和2年 3/15日(土)～4/5日(日) 時間 午前9時～午後5時 場所 展示棟ホール
入場料 無料 主催:三重県/共催:三重県立熊野古道センター

「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路・バスクの道」 Photographer / QUINTAS

旬の企画展

企画展 修験道～実利行者と大峯奥駈道～

修験道の根本道場とされる大峯と、明治時代の初めころ活動し、捨身行を実践した林実利の修験者としてのふるまいを紹介します。また、実利行者を支援した山麓の村々に残る史料を展示し、行者とその村々とのつながりに迫ります。

令和2年 2/22(土)～3/29(日) 会期中無休
時間 午前9時～午後5時
入場料 無料 場所 企画展示室

松田光一 作品展

様々な技法で世界遺産などの風景を描く和歌山県出身のアーティスト、松田光一氏の作品展を開催します。

令和2年 4/11(土)～5/31(日) 会期中無休
時間 午前9時～午後5時 場所 企画展示室
入場料 無料

松田光一 キャラリートーク スケッチ会

松田光一氏によるギャラリートークの他、古道センター周辺で一緒にスケッチを楽しみながらアート制作に関するお話をいただくコーナーもあります。

令和2年 4/11(土) 時間 午後1時30分～3時30分
参加料 無料 定員 80名(要申込・先着順)
場所 映像ホール・企画展示室 講師 松田光一氏(アーティスト)

特別 伊勢型紙彫型画作品展

三重県鈴鹿市の特産品である伊勢型紙の伝統技術を生かした彫刻絵画の世界をご紹介します。繊細な技術と想像力で表現された作品を通じて伊勢型紙の魅力をご堪能下さい。

令和2年 4/4(土)～6/21(日) 会期中無休
時間 午前10時～午後5時 場所 特別展示室

付随イベント 手彫り実演 & フリートーク

手彫りの技術を間近で観ていただくことができます。技法や道具についての解説などもあり、伊勢型紙についてより理解を深めていただくことができます。

令和2年 4/4(土) 午前10時～正午 午後1時～3時 5/4(日) 午前10時～正午
入場料 無料 場所 特別展示室 講師 大杉 章枝氏(伊勢型紙彫型画会会長)

付随イベント 伊勢型紙でつくる ミニ色紙&しおり

錐彫りの技法を用い、簡単な図案に挑戦していただけます。実際に道具を使い作品制作に取り組んでいただくことで、技術の奥深さを実感していただくことができます。

令和2年 5/4(日) 午後1時～3時 5/23(土) 午前10時～正午
参加料 500円(材料費込み) 定員 各20名(要申込・応募多数の場合抽選)
場所 ①図書資料室 ②体験学習室 講師 伊勢型紙彫型画会会員

和歌山県 世界遺産センター からのお知らせ

当センターでは、世界遺産全般および「紀伊山地の霊場と参詣道」の理解を深め、世界遺産の良好な保全と適切な活用について皆様と一緒に考える場として世界遺産セミナーを開催しています。令和元年度は4回開催し、多数の方にご参加いただきました。令和2年度の第1回世界遺産セミナーは6月7日(日)13時から、世界遺産熊野本宮館で湯川氏一族発祥の地「道湯川集落跡」と中辺路についての講演会を実施する予定です。世界遺産に興味・関心のある方のご参加をお待ちしております。(参加費は無料です)。

また、当センターが行う参詣道保全活動「道普請」は、毎年多くの方に参加していただいています。令和元年度は、2月末日現在で、延べ52団体、2,101名の皆様にご参加いただきました。今後も多くの皆様のご参加をお待ちしております。



令和元年11月中旬～令和2年2月の道普請参加団体(敬称略)

環境保全トレッキング、和歌山県警少年課、海南市立日方小学校、和歌山花王会、富士通株式会社、一般財団法人和歌山県損害保険代理業協会、スターティア株式会社、新宮市立三輪崎小学校、日本道路株式会社、和歌山県職員労働組合、紀の川市立貫志川中学校、田辺市立本宮中学校、さわかみ一般財団法人、新明和工業株式会社、和歌山市立東山東小学校、住友商事株式会社、田辺市天神児童館、阪和興業株式会社、那智勝浦町立市野々小学校、和歌山ターミナルビル世界遺産クラブ、西日本鉄道OB会和歌山支部世界遺産クラブ、新宮市立熊野川小学校

道普請とは 文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の保全活動(土入れ・側溝清掃等)を行っていただくものです。ボランティア活動として、毎年、多くの皆さまに参加していただいています。

参詣道保全活動(道普請)及び世界遺産セミナーに関する お問い合わせ 和歌山県世界遺産センター TEL.0735-42-1044 までお願いいたします。住所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp

イベント情報

交流イベント 水彩画で描く熊野古道と東紀州の風景(全4回)

熊野古道やその周辺の風景を水彩画で表現する教室を年間4回にわたり開催します。自然の空気・音・動きを感じながら楽しく描きましょう。

5/9(土) 5/16(土) 10/24(土) 10/31(土)

時間 午前10時～午後4時 参加料 3,000円(保険料を含む)※全4回分 ※画材は各自で購入していただきます。(3,000円～5,000円程度)
定員 15名(先着順)※中学生以上対象
場所 尾鷲市及び熊野市の熊野古道及びその周辺
講師 三隅 俊昭氏(画家)

交流イベント ワンコインコンサート LESS IS MORE

楽しいトークを交えながら短めの曲で1時間を気軽に過ごしていただくカジュアルコンサート。ランチタイム前のひと時をお楽しみください。

4/30(木) LESS IS MORE

時間 午前11時30分～午後0時45分 入場料 500円 定員 200名(要申込・先着順)
場所 交流棟大ホール 出演 LESS IS MORE ヴァイオリン:大光嘉理人、石井智大 ヴィオラ:塚本遠 チェロ:中西圭祐

交流イベント GWは家族で 熊野古道センターへ GO!

ゴールデンウィークの期間中、芝生広場では、ミニ機関車搭乗体験やクライミングボード体験、木製ボールプールの他、昔懐かしいポン菓子実演などを開催予定。室内では子ども上映会も開催。その他、様々なイベントがたくさん。ぜひご家族でお出かけください。

5/2(土)～5/5(火)

時間 午前10時～午後4時 場所 芝生広場・展示棟

体験教室 ヒノキのバターナイフ作り体験

4月18日の県民の日にちなみ、その場でできるものづくり体験教室を開催します。尾鷲ヒノキを使用したバターナイフづくりは、加工済みのヒノキの木片を紙ヤスリで削る体験です。お気軽に参加してください。

4/18(土)

時間 午後1時～午後3時 参加料 100円 定員 30名程度(材料がなくなり次第終了)
場所 交流棟ロビー 講師 熊野古道センター職員

熊野古道自然学校 チョウの採集と標本づくり教室

熊野古道センター周辺で、大型のチョウ・アゲハチョウを捕まえて標本にするまでの手順を学びます。

4/25(土)

時間 午前9時30分～正午 参加料 500円(保険料含む) 定員 20名(応募多数は抽選)
対象 小学生(小学3年以下は保護者同伴)
場所 熊野古道センター周辺 講師 山口 和洋氏(熊野の自然を考える会、三重昆虫談話会)

知られざる 熊野探訪ツアー 山稜トレッキング

紀伊長島志子よりツツラト峠に登り、山稜から荷坂峠を経て紀伊長島片上に至るトレッキングを開催します。

6/6(土)

時間 9時～15時(8時半より受付開始) 参加料 500円(保険料含む) 定員 20名(応募多数は抽選)
対象 健康者 場所 紀伊長島志子～紀伊長島片上

春のプリを味わう

東紀州の特産品や食材の魅力を味わっていただくための料理教室です。

4/19(日)

時間 午後1時～3時 参加料 2,000円 定員 24名(要申込・応募多数の場合抽選)
場所 体験学習室 講師 村林 新吾氏(相可高校食物調理科教諭) 相可高校調理クラブの皆さん

東紀州の食材でつくるスペイン料理

スペイン・バスク自治州との「食の交流」から生まれた村林流のスペイン料理を学びます。

5/14(水)～6/7(日) 会期中無休

時間 午後1時～3時 参加料 2,000円 定員 24名(要申込・応募多数の場合抽選)
場所 体験学習室 講師 村林新吾氏(相可高校食物調理科教諭) 相可高校調理クラブの皆さん

日曜ものづくり体験教室

東紀州で活躍中の木工職人や工芸家を講師に、毎週日曜日に開催している体験教室です。講師は週替わり、事前申込不要で、小さなお子様から大人まで気軽に楽しんでいただけます。

4/19(日)～5/12(日) 会期中無休

時間 午後1時～3時 参加料 300円～(※体験によって異なります)
場所 交流棟大ホール または 展示棟ホール

連続講座 4月～3月 古文書から紐解く地域の暮らし

古文書の基礎的な知識の習得を目指す講座を開催します。数年にわたり資料の研究を続ける尾鷲古文書の会会員の指導のもと、身近な歴史に触れながら楽しく学ぶことで、一年間の継続を目標とします。

2020年 2021年 2020年4月～2021年3月までの毎月1回 第4土曜日(全12回)

4月～3月

時間 午後1時～3時 参加料 1,500円(資料代として初回のみ) 定員 20名(要申込・応募多数の場合抽選)
場所 図書資料室 講師 尾鷲古文書の会会員

講座 新熊野学講座(全4回)

熊野古道やその周辺地域の歴史・文化・民俗・自然などについて、各分野の研究者及び専門家を講師に迎え、総合的に学ぶ講座を4回にわたり開催します。

5/17(日) 6/28(日) 10/18(日) 12/6(日)

時間 午後1時30分～午後3時30分 参加料 無料 定員 80名(要申込・先着順)
場所 映像ホール 講師 ①濱中 良平氏(濱中林業9代目) ②山田 耕作氏(理学博士) ③和田 利信氏(熊野市文化財専門員) ④甲斐崎 圭氏(作家)

連続講座 初心者のための山歩き入門 春季

小中学生や山歩き初心者の方、登山経験はあるが基礎から学びたいという方、登山のスキルアップを目指す方のための山歩き入門講座を開催します。

4/11(土) 4/18(土)

参加料 500円(保険料・資料代) 定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 小学生以上 ※2回とも受講できる方に限ります。
場所 第1回 体験学習室 第2回 熊野古道ツツラト峠(少雨実施)
講師 宮本 秀男(熊野古道センター副センター長)